

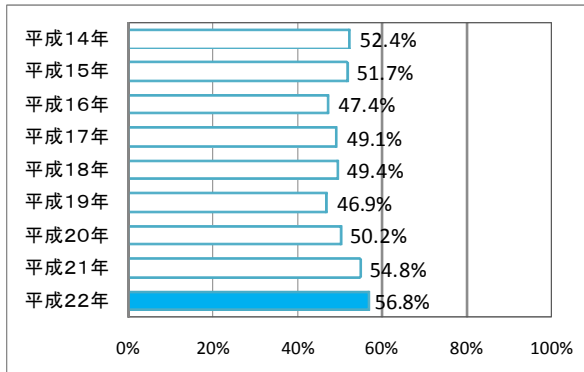
チャイルドシートの使用状況について

1 チャイルドシート使用状況調査結果

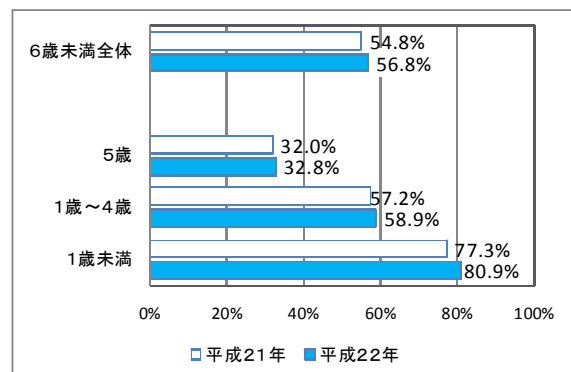
警察庁及び社団法人日本自動車連盟（JAF）が、本年4月20日から4月30日の間に合同で実施したチャイルドシート使用状況の全国調査の結果は次のとおり。

- (1) 使用状況（全国102箇所・乳幼児12,968人を対象）
使用率56.8%（前年比+2ポイント）

《使用率の経年推移》※

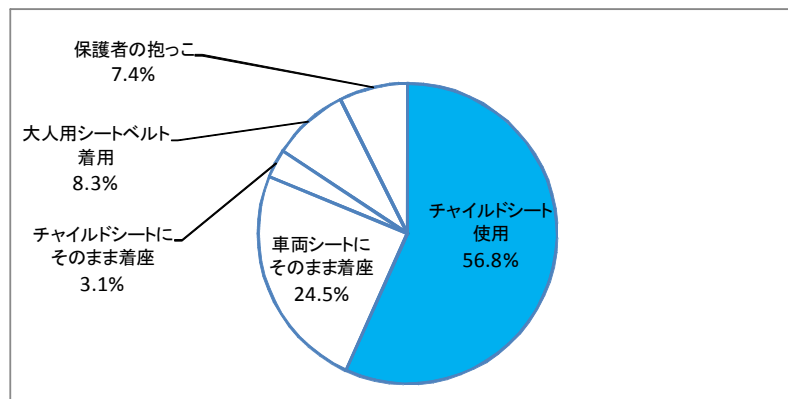


《年齢層別チャイルドシート使用率（前年比較）》



※（社）日本自動車連盟との合同調査は平成14年から実施

《6歳未満のチャイルドシート使用状況》



- (2) 取付け・着座状況（8都道府県・計17箇所）

区分	適切な取付け割合	適切な着座割合
乳児用シート	36.7%	52.2%
幼児用シート	36.2%	50.7%
学童用シート		73.9%
計	36.5%	58.8%

2 チャイルドシート使用有無別の死亡重傷率等（平成21年中）

- チャイルドシート不使用の死亡重傷率は使用の場合の約2.7倍
- チャイルドシート取締り件数は86,145件（前年比+13,195件）

3 今後の対策

全ての座席におけるシートベルトの着用徹底と併せ、チャイルドシートの正しい使用の徹底について広報啓発を推進